

北海道浮魚ニュース

平成 22(2010)年度 13 号

2010 年 8 月 23 日

北海道立総合研究機構水産研究本部
中央水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm

◎道南日本海スルメイカ調査結果 (金星丸 : 8/17~8/20 の調査)

今年度から、おやしお丸から金星丸による調査に変更になりました。それに伴い、調査海域および調査時期も変更しています(昨年度までは 9 月に積丹半島~奥尻島海域を、今年度から 8 月に檜山~松前大島海域に変更)。

分布密度は沖合で高く、外套長モードは 21cm

1. スルメイカの分布密度と水温 (図 1)

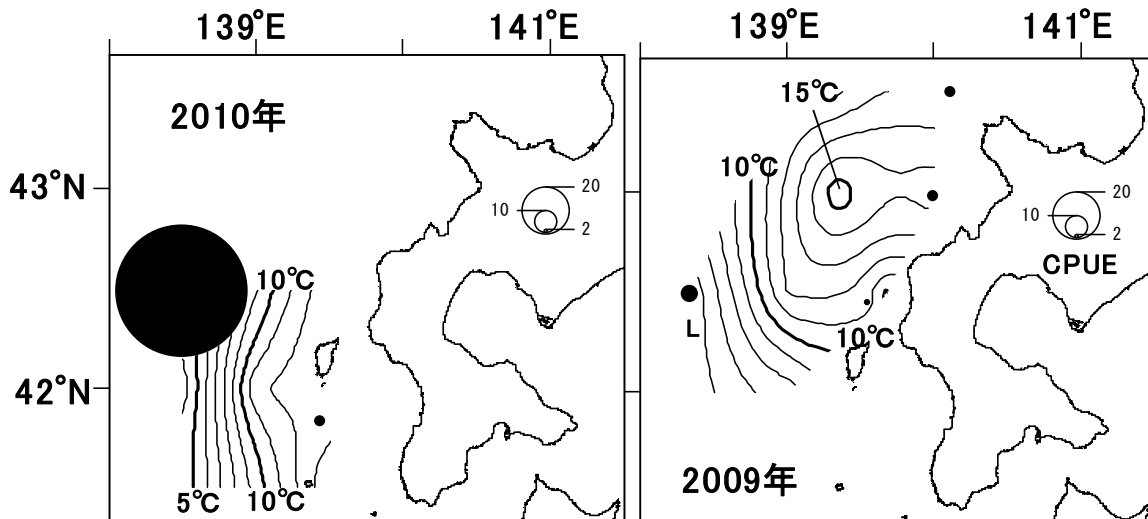


図 1 道西日本海におけるスルメイカの分布密度と 50m 深水温

※モードとは各調査点で最も多く漁獲されたイカの大きさのことです。

スルメイカの分布密度 (CPUE : 自動いか釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は沖合の調査点で 56 と高く、奥尻島南の調査点で 4 と低くなっていました (図 1)。

調査海域の 50m 層水温は、3.5~14.0°C (前年: 3.6~11.2°C) でした (図 1)。また、調査海域の表層水温は 23.8~26.3°C (前年: 16.0~20.2°C) でした。

2. スルメイカの大きさ (図 2)

スルメイカ外套長の範囲は 13cm から 25cm でモードは 21cm でした (図 2)。モードは 21cm と前年 (23cm) より 2cm 小さくなっていました。

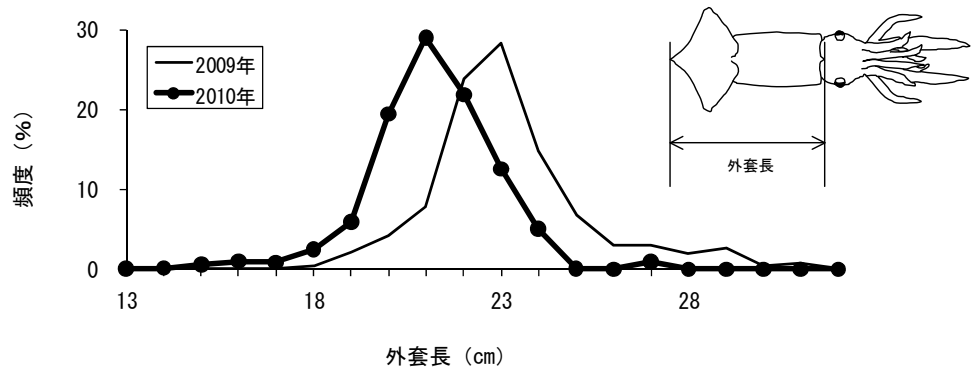


図2 外套長組成図

3. 標識放流

1 調査点で合計 1,300 尾のスルメイカに標識をつけて放流しました (図 3、表 1)。標識は裏面に JP と記載されている「黄色アンカータグ, M80-M92」です。標識のついたスルメイカを再捕された方は、お近くの水産試験場までご報告いただきますよう、よろしくお願いいたします。

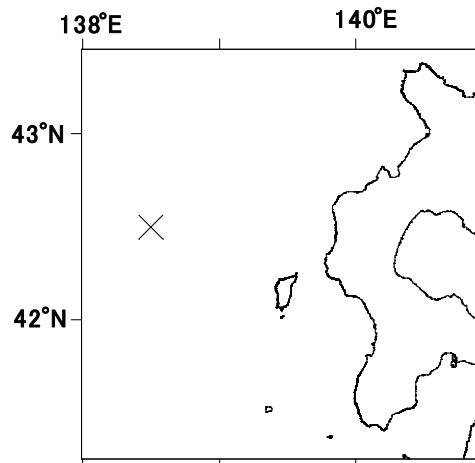


図3 標識放流地点

表1 標識放流情報

放流位置	放流尾数	標識種類	標識番号
42-30N 138-30E	1,300	黄色アンカータグ	JP-M80~M90

(文責: 中央水産試験場資源管理部, TEL:0135-23-8707, FAX:0135-23-8709)